

89 A 12
(80 A 5)特 許 庁
実 用 新 案 公 報実用新案出願公告
昭37-7660公告 昭 37 4 17 出願 昭 33 8 1 (前特許出願日援用)
実願 昭 35-7008出願人 考案者 河 野 勇 横浜市港北区日吉本町1869
代理人 弁理士 丹 生 藤 吉 外2名 (全4頁)
(出願人において、権利譲渡または実施許諾の用意がある)

拡大縮小自在の移動式簡易家屋

図面の略解

図面は本考案の移動式簡易家屋を示すもので、第1図は拡大状態における斜面図、第2図は縦断側面図で第4図のⅡ-Ⅱ線における断面を示す図、第3図は第2図のⅢ-Ⅲ線における断面図、第4図は第2図のⅣ-Ⅳ線における横断平面図、第5図は伸縮室区分の伸縮操作装置を示す縦断面図、第6図は伸縮室区分の伸縮装置の部分断面図、第7図は2階室区分の昇降装置を示す部分断面図である。

実用新案の説明

本案は車輪を具備する車輪の形態をなし任意所望の地点へ移動させて、主室の上方、左右および後方にそれぞれ2階、左室、右室および後室を伸出させて使用することができる移動式簡易家屋に関するものである。

図面について説明すれば、この移動家屋は主室Aを構成する主体1は移動用車輪2を具備し、前部に運行用発動機3が取付けられ、その上に運転手席4があつて一種の大型自動車の形態をなしている。この主室Aの4個所に管支柱5が天井板6と床板7とに上下端を固定して設けられ、その管支柱5内にそれぞれ上下自在に挿入した4本の管支柱8の上端に2階室区分Bの天井板9が固定され各支柱8の下端には雌ねじ10が固定されて、管支柱5内において回転自在に支持させたねじ軸11とそれぞれ螺合している。この構造によりねじ軸11を回転させることによつて2階支柱8を天井板9とともに上下させることができる。

2階室Bの前壁板12側壁板13、13後壁板14は下辺を主体1の天井板6に蝶番15によつてそれぞれ蝶着されており、天井板9の昇降位置において各壁板の上辺を天井板9に掛止具16によつて掛止めて2階室Bを構成することができ、その室の前

部にはバルコニー17が形成され前壁板12には出入口扉18が設けてある。

主室Aの左右の側壁20、20には開口部19、19があつてそれぞれこれ等の開口に適合する別個の側壁板21、21にはそれぞれ天井板22、22および床板23、23が固定されてそれぞれ主室Aの二重天井6の空間および床板7の下部空間内に左右から出入し得るようになつている。左右側壁板21、21には蝶番24により屏風状に折畳み得る前壁板25および後壁板26の外端縁が蝶番連結され、内端縁は主室Aの側壁に枢着連結されている。左右各室の床板23、23の下側にはそれぞれラック27が固定されて主体1の床板7の下側に支承させた前後方向の軸28に固定した歯車29にそれぞれ噛合い、軸28を回すことにより側壁板21、21を左方および右方へ進出させて左室C右室C'を構成することができる。各側壁板21、21には出入口扉30が設けてあり、また出入移動を容易にするために下端に車輪31を取付けたねじ杆32が固定支持筒33に螺合してハンドル34の操作により上下させることができる。

主室Aの後端は開口35となつており、別体の後壁板36で塞がれ、この後壁板36に連結した天井板37および床板38は主室Aの二重天井6内および床板7の下側に出入することができ、天井板37にはその前端に係合してともに引出されるように補助天井板39が連結されている。40は着脱自在の補助床板で主室Aの下縁の桁41上に掛けならべることができる。床板38の下側にはラック42が固定されて主室Aの床板下側に支承させた軸43の固定歯車44と噛合い、軸43を回すことにより後壁板36天井板37床板38を主体の後方へ進出させることができる。後壁板36には蝶番45によつて屏風状に折畳自在に連結した側壁板46、46の後端が連結され

その前端は主体1に連結されており後壁板36の後方進出状態において後室Dを構成する。後壁板36には出入扉47が設けられ、前後移動を容易にするために下端に車輪48を取付けたねじ杆49が支持筒50に螺合しハンドル51の操作により上下自在に装備されている。

第5図は2階室、左右室および後室の出入操作機構を示し、機筐52に支持されたハンドル53を回せば歯車54, 55を介して主軸56が回わされ、それとキー57を介して連結しているねじ歯車58からねじ歯車59に伝動されて軸60が回わされ、その軸上のスプロケット車61からチェーン62を介して4本の管支柱内のねじ軸11の固定ラチェット車63に伝動されて4本のねじ軸11が同時に回わされるのでこれによつて2階天井を上下させ、2階室Aの設定および収納を行うことができる。

切換レバー64を操作して主軸56を移動させ、キー57をスプロケット車65に係合させておいてハンドル53を回せばスプロケット車65から左室出入用軸28のスプロケット車66にチェーン67を介して伝動されて軸28は回わされるので左室Cを進出設定し、また収納することができる。

同様に主軸56のキー57をスプロケット車68に係合させてハンドル53を回せばチェーン69スプロケット車70を介して軸28が回わされ、右室C'を進出設定し、また収納することができる。

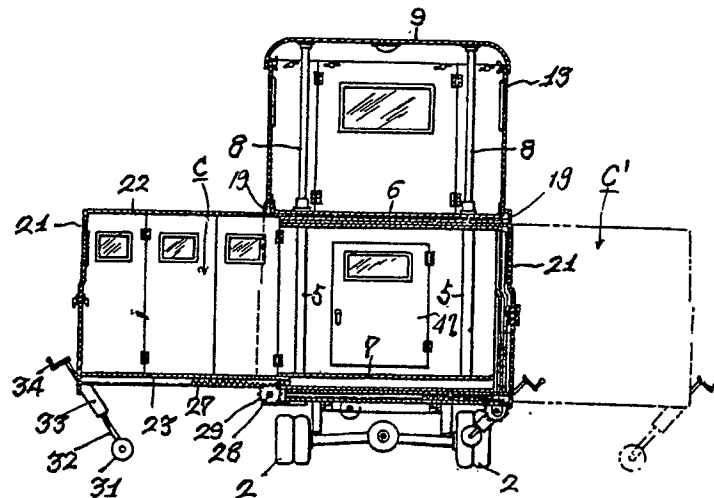
また主軸56のキー57をスプロケット車71に係合させてハンドル53を回せばチェーンを介してスプロケット車72軸73に伝動されその軸の後端から傘歯車74, 75歯車76, 77を介して後室操作軸43が回わされるので後室Dを進出および収納することができる。

本案によれば前記のように主体をなす主室Aの両側および後方にそれぞれ折畳自在の側室C, C'および後室Dを構成することができるとともに、主室Aの上に折畳自在の2階室Bを構成することができるので、駐留地点において比較的大型の簡易2階家屋を構成することができ、2階室の主要構成部材の進退をハンドル操作によつて簡単に行うことができるものであつて、簡易移動家屋としての利用価値を著しく高めることができる効果がある。

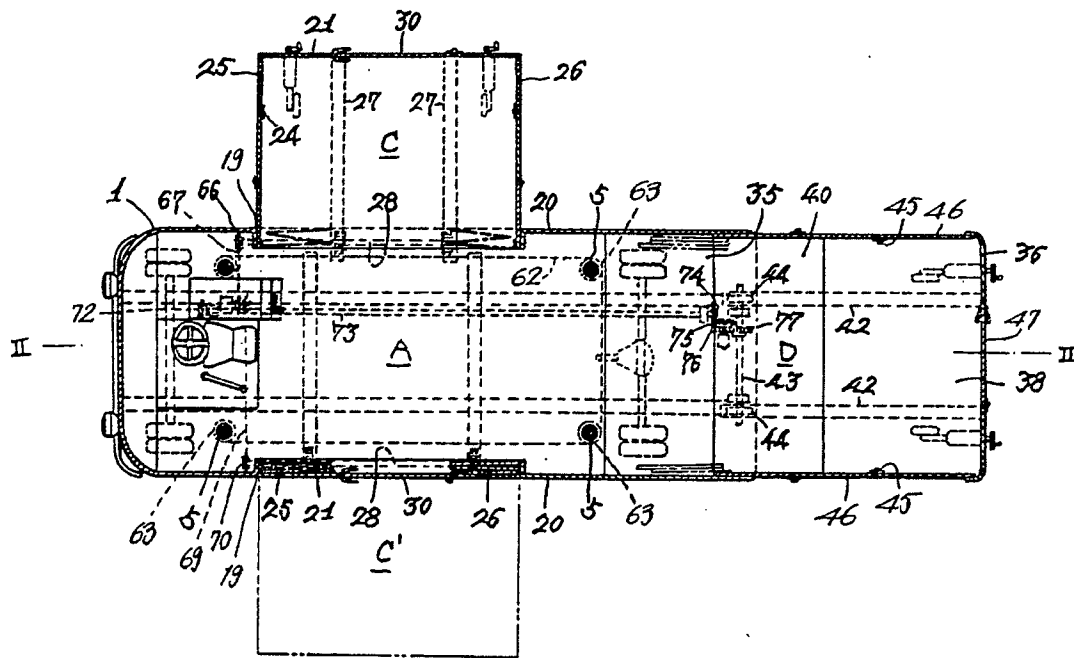
登録請求の範囲

図面に示したように移動用車輪2を具備し家屋の主体Aを構成する主体1の4個所に管支柱5を縦に固定しその内部にそれぞれ上下自在に管支柱8を挿入してその下端の雌ねじ10を管支柱5内に縦に設けたねじ軸11に螺合させ、ねじ軸11の固定スプロケット車63を回転ハンドル53によつて回わされるスプロケット車61とチェーンを介して伝動連結し、前記管支柱8の上端に主体1とは別個の天井板9を外側において固定し、主体1の天井板6に前壁板12側壁板13, 13後壁板14の下端を螺着して管支柱8の上方進出位置において天井板9とともに2階室Bを構成するようにし、主体1の側部開口19は側室C, C'を構成する側壁板21天井板22および床板23を出入自在に設けるとともにそれらに折畳み自在の前壁板25後壁板26を連結し主体1の後部開口35に後室Dを構成する後壁板36天井板37および床板38を出入自在に設けるとともにそれらに折畳み自在の側壁板46を連結して成る移動式簡易家屋の構造。

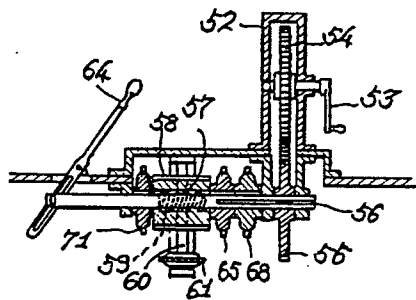
第2図



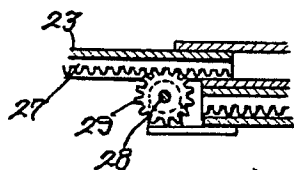
第4図



第5図



第6図



第7図

